

悪い例



自分だけでなく、
周りの人の身を守るために

交通ルール、
アップデートできていますか？



交通事故を防ぐためには、一人ひとりが交通ルールやマナーを守ることが大切です。4月からは自転車の青切符制度も導入され、交通安全への関心が高まっています。交通ルールとマナーを最新の状態に更新し、より一層安全運転を心掛けていきましょう。

☎安全安心課 ☎0422-45-1116

市長コラム

交通安全都市を目指して


三鷹市長 河村 孝

市内の昨年中の交通事故件数は365件。そのうち自転車に関わっていたものは225件で、全体の約60%を占めています。言い換えれば、自転車関連の事故を減らすことで、交通事故全体を大きく減らせる可能性があるということです。交通事故というと、車の事故が目が行きがちですが、電動アシスト自転車の普及もあり、自転車と歩行者の事故が大きくなげがにつながる例も出ています。自転車の利用環境が昔とは変

わっていることに注意が必要です。さて、市立小学校の全児童・保護者などの皆さんが、身の回りで事故の危険を感じた体験を(株)SUBARU、(-財)トヨタ・モビリティ基金、豊田都市交通研究所のご協力を得て調査しました。その結果を地図にまとめたものが「ヒヤリハット体験マップ」です。こうした取り組みでまちの安全性が意識され、事故件数の改善につなげていきたいですね。

YouTubeで配信中


第59回三鷹阿波おどり開催

